

ドイツ文化論 (German Culture)		1年・後期・2単位・選択必修 3専攻共通・担当 田島 昭洋	
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 A - 1 C - 2	〔JABEE 基準〕 (a), (f)	
〔講義の目的〕 ウィーンとシューベルトの歌曲に焦点を当て、都市の文化を探る。第3の国連都市、ドイツ語圏有数の古都ウィーンは、ヨーロッパの東西(ドナウ川)と南北(複数の街道)が交差する要所に位置し、古くから政治、経済、学術の諸力が調和融合し、独自の特色に昇華する文化の結晶点であった。そうしたウィーンならではの文化の一端を都市と創作者のかかわりから見ていきたい。そこには現代都市に通じる普遍性が見出せる。メンデルやフロイトやマッハらがこの地で学び、新しい発想と発見につなげた都市の文化的背景には、分野を越えて共通する基本的特徴があり、理系の学生にも興味深い。			
〔講義の概要〕 講義形式を基本とするが、都市や文化の紹介にあたっては、担当者による挿話・実演や都市の映像や楽曲のCDを通して、視覚的・感覚的なイメージを取り入れる。			
〔履修上の留意点〕 受講にのぞむ真摯な態度や積極的な姿勢が重要である。			
〔到達目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ ウィーンの地理的特徴・都市の文化的特色の理解 ・ 19世紀前半における社会的転換の把握 ・ 都市がシューベルトを導いた過程の確認 ・ 楽曲に現れた都市の姿の認識 			
〔評価方法〕 提出物(50%)、真摯さ・積極性(50%)			
〔教科書〕 教科書は使用しない。適宜、拙論のコピーを配布したり、参考文献を紹介したりする。			
〔補助教材・参考書〕			
〔関連科目〕			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	都市ウィーン(1)	地理学習、都市の文化的特色の紹介	
第2週	都市ウィーン(2)	19世紀前半の社会 貴族社会から市民社会への転換	
第3週	都市ウィーン(3)	19世紀前半の社会 ウィーンの光 - 華やかな市民サロン	
第4週	都市ウィーン(4)	19世紀前半の社会 ウィーンの影響 - 抑圧された時代と市民	
第5週	都市ウィーン(5)	楽都の歴史的背景と「ウィーン古典派」の成立	
第6週	都市ウィーン(6)	「ウィーン古典派」とシューベルト	
第7週	都市ウィーン(7)	「ウィーン古典派」とシューベルト	
第8週	都市ウィーン(8)	都市事情とオペラ	
第9週	都市ウィーン(9)	新しい市民音楽文化(歌曲)の誕生	
第10週	文化創造(1)	『野ばら』	
第11週	文化創造(2)	『魔王』	
第12週	文化創造(3)	『美しき水車小屋の娘』	
第13週	文化創造(4)	『美しき水車小屋の娘』	
第14週	文化創造(5)	『冬の旅』	
第15週	文化創造(6)	『冬の旅』	
期末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)